

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO SPORTS南中山教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 27日		～ 令和8年 5月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和8年 5月 10日		～ 令和8年 5月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育の幅広さ	・子どもたちが楽しく運動に取り組めるように教室にあるものでなにか出来るのかを考えながら幅広い療育内容を考えている。	・子どもたちの「できた」を増やしていくことが出来るようにスモールステップで支援を行っていく。
2	・保護者への寄り添い	・送迎時にマイナスな部分だけを保護者に伝えるのではなくできたことや頑張ったことを大げさのように褒めて今後「できた」を増やしていくためにどのような支援を行っていくのかを伝えている。	・子どもの悩みだけではなく保護者の悩みも送迎だけではなく面談の時間も設けていながら取り組んで行こうと思う。
3	・活動スペースの確保	・活動を行うための十分なスペースが確保されているため子どもたちが伸び伸びと動くことが出来ている。十分なスペースが確保されていることで様々な運動療育を行うことが出来ている。	・十分なスペースが確保されているがまだうまくスペースを使うことが出来ていない為、この広さでしかできない運動内容を考えていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人員の不足	・見学や面接で来てくれたとしてもスタッフ一人一人に余裕がないと感じる。そのため大変な職場と感じさせている部分がある。	・スタッフ一人一人が落ち着いて対応できるように朝礼の時点で役割を明確にしておく。また業務内容だけではなく誰がどの児童につく必要があるかも明確にしていける必要がある。
2	・運動療育の固定化	・人数や発達状況で運動療育を考えてしまうためサーキット運動を行う際に固定になってしまう。そのため子どもたちへの運動の飽きにもつながってしまう。	・教室にある療育道具を様々な組み合わせで行いながら固定化しないように取り組んでいく。また子どもたちが楽しいと思えるような運動内容を職員内で会議を行いながら考えていく必要がある。
3	・祝日の利用が少ない	・祝日に入ると家族で出かける家庭が多いため欠席率やキャンセル率が高くなっている現状にあり、他の家庭に追加利用をうながしてうまく追加に繋げることが出来ていない。	・長期休みだけではなく祝日にもイベントを行いながら利用の促しを行い欠席率やキャンセル率を減らしていくことができるようにする。